

# 令和3年度ひきこもり支援活動実践案内

つどいの広場なないろ

2022/02

# つどいの広場なないろ



(居場所)



(室内)



(野菜畑)



(花壇)

## ひきこもりの主な問題点

- 当事者および家族の高齢化に伴い、生活困窮や介護の問題が表面化してきている。
- 当事者と家族の問題が解決されず長期化する傾向にあり、関係者の介入を必要としている。
- 当事者および家族の問題が起こった場合、緊急避難場所的な居場所が必要とされている。
- 当事者および家族は社会参加が遅れており孤立している傾向が多く見受けられる。
- 家族が当事者と向き合うにあたって、適切と思われない対応をしている事例が多くみられる。
- 当事者の自立に向けた活動が早急に求められている。

## 活動内容

- 主に家族を中心とした悩み相談や、当事者への社会参加へのアプローチなどを行っている。
- 当事者はおよび家族は悩み事が大きすぎて不安になる傾向が高く、24時間通じる電話連絡先としての役割を担っている。
- 何らかの問題が発生した場合に、当事者および家族が一定の距離を置く必要性がでてきて、緊急避難場所として居場所を提供したりしている。
- 当事者の自立に向けた取り組みとして、居場所への参加や就労支援事業所への紹介を経て、社会参加を開始し、職業訓練を行い、一般就労につながる事例もみられる。
- 当事者や家族が社会参加しやすい企画を計画して実践し、有意義な時間をすごしていただける活動をしている。

## 活動目標

- ひきこもりの性格上、利用者の拡張が難しい背景があるが、粘り強く継続的な活動を行うことによって、口コミ等で当事者および家族の利用を増やしてゆく。
- ひきこもりの支援はとてもデリケートな面が多いので、活動の経験によりスタッフのスキルアップを図り続け、きめ細かな支援提供をできるようにしてゆく。
- 当事者にもなるべく積極的に参加をしてもらい、就労継続作業所の紹介から仕事をする目的や価値観を身に付けてもらい、最終的には一般就労に繋がるように支援をしていく。
- 他のひきこもり支援団体との交流の機会を大切にして、出来得る範囲での情報共有をしてゆき、更なる品質向上に努められるようにしてゆきたい。